

リフォームに、新築に、
住まいづくりのほっとな話題をお届け！

おうちのはなし

2022. 9月号 256



< 発行人 >

株式会社 大成建託

☎0280-87-6177

✉info@fp-taisei.co.jp

〒306-0405 茨城県猿島郡境町塚崎2542-1



新しいリビング

一家族のカタチが見える場所

- ・センターリビング
- ・2Fリビング
- ・カフェリビング



NEWS

台風シーズン突入です。
いまいちど、
ハザードマップの確認を。

9月に入り、台風シーズンです。

利根川・渡良瀬川に隣接する私たちの地域では、河川の氾濫に対する警戒意識は特に高いと思いますが、台風シーズン突入。またゲリラ豪雨などによる道路の冠水なども多発します。

今一度、避難先や経路など、各自治体のハザードマップ(防災マップ)を確認してみたいかがでしょうか。

●境町近隣の自治体をあげてみました。



境町

古河市

坂東市

※詳しくは各自治体のホームページをご覧ください。

笑う門には
福来たる

健康だいすき！

壮年Diary

～とある、ひとこま～

9月1日は「防災の日」です。1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだものでありますが、国民が「台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」こととし制定された防災啓発デーなのです。9月1日は、暦の上では二百十日にあたり、台風シーズンを迎える時期でもあります。地震や風水害等に対する心構えや備えを見直しましょう。

ところで、「防災」とは、どんな言葉の意味を持っているのかご存知ですか。広辞苑には、「災害を防止すること。」と簡記されていますが、災害対策基本法では、「災害を未然に防止し、

社長コラム

防災の日

災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、及び災害の復旧を図ることをいう(第二条第二号)と定義しています。

なお、広辞苑に「防災」という語が載せられたのは、昭和44年(1969)年5月の第二版第一刷からで、昭和30(1950)年5月に発行された初版本には載っていないそうですよ。

これから台風シーズンです。各自治体のハザードマップや、災害に対する備えを確認しておきましょう。

当社ホームページにも、簡単ですが防災について掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



家族のカタチが見える場所



そもそも日本の住宅の中に、リビングがあるという歴史はそれほど古いものではありません。現代住宅が形づくられる中で生まれてきた空間です。客間、寝室、キッチン、ダイニングのように、明確な目的を持った空間ではなく、使われ方もあやふやですが、今やリビングがあることが普通になっています。

リビングという空間は、基本的には家族の集まる部屋として考えられています。時には親しい客を迎えたり、子どもの勉強部屋として使われていることもあります。しかし、家族が集まることが多い食事のための部屋でもありません。家族が居るだけの部屋なら「居間」という呼び方も絶妙のネーミングです。

逆に目的がはっきりしないことは、使われ方の違いで、その家族らしさを表す空間になるのかもしれませんが。その意味では、家族のカタチが見える場所といえます。親も子もたくさんの友達を招くことが多い家族なのか、それとも家族で映画や音楽を楽しむ家族なのか、あるいは各々

家の中心となる部屋といえば、リビングと答える人も多いことと思います。マドリの印象も、リビングの作り方で大きく変わります。新築でもリフォームでもリビングを考えることは、生活スタイルや家族のあり方を考えることと一緒に。そして時代の変遷によって家族のあり方が変われば、新しいリビングも求められるようになります。

～家族のカタチが見える場所～

新しいリビング

が寛ぐことに徹しているのか。これらの違いは、おそらく一番最初にリビングに現れることでしょう。

センターリビング



また、リビングの使い方の違いで家族の関係が表現されることもあります。その事例が、センターリビングという考え方と使い方です。その名の通り、リビングが中心にあるということですが、間取りの特徴は、リビングと階段の位置関係を表しています。

戦後に建てられてきた住宅は、

平屋建てから総2階へ変わってきた歴史であり、2階への入口である階段の登り口は、玄関ホールにあるのが一般的な間取りとして定着しました。

2階にはプライベートルームとして子ども部屋ができ、玄関から直接つながることになります。考えてみればプライベートルームは家の奥にあるのが普通であり、不自然に思えます。

この問題に気づき改善されたのがセンターリビングです。子どもは家に帰ってきて、一度リビングを経由してから自分の部屋に行くようになります。子

も帰ってきて親の顔も見ないで自分の部屋にこもることができなくなります。それは親も同じことです。家族のコミュニケーションを深める間取りとして生まれた、新しいリビングのカタチです。

階段はリビングの中に作られることもありますし、リビングの奥に配置されることもあります。写真の様にリビングの中につくられると、まさにプライベートルームへの出入りは、家族の目の前で行われるようになります。家族の結びつきを、より強くするリビングのカタチです。



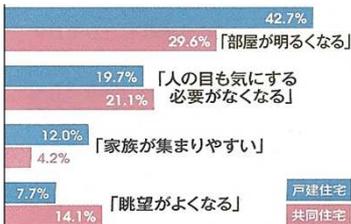
家の中の快適な場所

間取りの図の中では、リビングが最も良い場所に配置されることも多いと思います。日当たりが良い南に面した大きな空間に、リビングが家族の空間として大切にされているということです。しかし、冷静に家全体を見渡してみると、家の中にもっと快適な場所があることに気づきませんか。

それは2階の南面です。

新居訪問などのTV番組でも、2階リビングが取り上げられることが多いように思えます。2階リビングには現実的に多くの魅力があるようです。

2階リビングのイメージに関する、簡単な調査結果です。全国の主婦層を中心とした調査で、219件の回答が得られています。そのイメージの中では、今住んでいる家が戸建て住宅であるかマンションのような集合住宅であるかで違いが見られます。



戸建てに住んでいる人が、部屋が明るくなると思うのは、今の戸建住宅の暗さが住んでいる実感として不満になっているからでしょう。一方、集合住宅に住んでいる人が眺望が良くなると感じるのは、今の部屋からの眺望を想像しているのかもしれませんが。

十分な敷地の広さがあれば、日当たりの良さも確保できますが、敷地が限られているのも現実です。周囲の住宅も2階建てであれば、眺望までは期待できなくても2階のリビングが明るくなることは間違いありません。もちろん、窓を開け放しても、通りがかりの人に覗かれる心配もありません。ですから、カーテンを開けばなしにして生活することもできます。リビングを2階に設置するだけでも、全く違う生活感の住宅になり、さらには新しい利点もいくつか



～家族のカタチが見える場所～

新しいリビング

生まれてきます。

明るさの他にも2階のリビングでは空間を豊かに取ることができます。屋根裏のスペースをリビング上部の吹抜け空間として活用するのです。屋根の形がそのまま勾配のついた天井となります。2階の床を抜いた吹抜けよりも、趣の深い空間になるでしょう。

また、大きな空間を取るのも、1階よりも2階の方が向いています。地震に対する強度を考えると、1階にプライベートルームを配置することで、間仕切り壁の数が増え、耐力壁になることで強度を確保することができます。

さらに各部屋に置かれた物の重量も、リビングよりも個室の方が重たいものです。例えば、リビングセットの家具類よりも、衣装ケースや寝具など、普段使わない分まで蓄えられている個室の方が重量はあります。一般的な構造計算は、均一な積載荷重と単純な壁量で計算されるので、1階が重く2階が軽くなる2階リビングにすることで、強度的に有利になっていると考えられるのです。

また、「家族が集まりやすいイメージがある」と、先の調査で戸建住宅に住んでいる人たち答えている点にも着目したいものです。天井が高く、明るい2階リビングには自然と足が向くようになります。もし、敷地の条件が許されるのであれば平屋に



したいという夢に、ちょっとでも近づくのが2階リビングです。

友だちとのゆるい関係



情報時代が進み、リモートワークが浸透した新しい生活様式での家族像でも、これまでとは違うリビングのカタチが見えてきます。SNSの普及により、様々な問題が生まれているのも事実ですが、逆に人と人との関係が近くなり繋がりがやすくなったことを喜ぶ人も多くいます。

SNSのおかげで、数年ぶりの友だちとも手軽に連絡を取り合うことができるようになりました。SNS社会は、家族の関係にプラスして友だちがコミュニケーションの中に入り込んでくる社会でもあります。家も家族だけのものではなく、家族と友だちを含めた“みんな”のための家になるのかもしれない。

友だちが互いに家に寄りつくようになると、新しい使い方が生まれてきます。SNS時代の友だちの関係は、これまでの家族の関係とはまた違う、言葉には表さない「ゆるいルール」があり、そのルールに従った使い方が生まれてきます。

例えば、友だちはゲストとは違います。お茶を出して客人のようにもてなすのではなく、家族と同じように自分の飲み物は台所に行って自分で入れます。

また、家族が家に帰る時お土産物を用意することがないように、土産は自分の好きなものを買ってきて、みんなで一緒に食べます。時間をきっちり決め込むこともなるべく避けます。とても「ゆるいルール」であり、だからこそ友だちとしての関係も長持ちします。

これまで、家族の城であった家が、友だちとのコミュニケーションの場になります。見かたによっては、とても平和な世界に近づいているようにも見えます。

カフェリビング



もちろんプライベートな空間は、家族のために確保され守られています。そこでリビングにも、家族と友だちを含めたみんなの家としての使い方が生まれてきます。センターリビングはリビングと階段とのつながり方でしたが、新しいリビングは、リビングと玄関のつながり方の違いになります。

それは、まるでカフェのようなスタイルのリビングです。

一度玄関に入れば、リビングまでがカフェに入ったかのようにオープンに見渡すことができます。様々な場所にバラバラと、すでに集まっている家族や友だちの顔ぶれもわかり、出迎えるみんなも新しい来訪者が誰なのか玄関の方を見ればすぐにわかります。外部とは玄関扉一枚で仕切って、その内側である玄関土間から、玄関ホールとリビングが一体となった新しいリビングのスタイルです。キッチンもそばに一体となってあるので、友だちも自分でお茶を入れて飲めるようになります。

似たような集まりは、猫カフェや子育てカフェという形でも広がりがつあります。SNSで知り合って、新しい友だちの輪も広がり、自分でカフェを開くこともできます。まさに、カフェリビングというスタイルが生まれているのです。

新築を考えるのであれば、家族がどのようにリビングを使うのか、ちょっと真剣に話し合ってみたら良いでしょう。また、家族間の関係も成長とともに変わるものです。リフォームで新しいリビングをつくることもできます。リビングのカタチを考えることで、家族の関係を見つめ直してみるのも良いのではないのでしょうか。

すまい文化の栞

オランダ人の発明

江戸時代に長崎出島を通じて、日本が西欧社会とつながっていたのはオランダでした。通詞は蘭学を学び、オランダ語で話していました。当時のオランダは世界にも名をはせる有数の国でした。

オランダといえば風車で水を汲み出し大規模な干潟の開拓で有名ですが、その干潟は泥炭層で、薪ほどではありませんが燃料になります。遠い山間部の森林から薪を調達しなくてもエネルギーを確保でき、しかも開拓

された土地を農業地として活用できます。

イギリスで石炭を利用する産業革命が起きる前夜に、オランダの黄金時代があったのです。その覇権は極東の日本にまで届いていたのです。



その当時のオランダの家族の姿が、他国の旅行者の日記によって残されています。夫婦とその子どもだけが住む小さな家を個人で所有して暮らしていたのです。そして、「オランダ人は、子どもと家庭と庭の3つを大切にしている」と記されています。子どもを家族の中心とした家庭があり、開拓した土地に小さな家を建て、庭で花を育てて暮らしていたのです。

その頃のフランスやイギリスなどの風潮では、子どもは厄介

者で、大人としての分別を教え込むまでは表に出すことはなく、厳格に管理するのが通例でした。それに対してオランダでは、いわゆる現代の核家族のような居住形態が生まれていたのです。

このオランダのライフスタイルが家の中にプライベートルームを生み出すことになりました。そしてそれは、逆にファミリールームにも通じます。食事や仕事、そして就寝という行動の空間部分から、個人の部屋と家族の部屋という家の大発明につながります。

日本に核家族化とリビングダイニングのある家が建てられるようになるのは、数百年後、昭和の後半になってからです。

Health & Sustainability

日本という健康

「世界的な」という意味で、インターナショナルとグローバルという言葉があります。どちらも似たような意味ですが、位置づけは大きく違います。インターナショナルというのは、世界のどの国に行っても統一されたものです。例えば、インターナショナルホテルというのは、日本でもアメリカでもヨーロッパの国々でも、そしてさらに先進国でない国々に行っても変わ

らない質を持ったホテルです。

一方、グローバルというのは、一つの地域の文化が世界に知れ渡ることを指します。例えば、寿司という食文化が、世界中で食されるようになることをグローバル化といいます。

世界の中でも歴史のある日本の文化は、いろいろとグローバル化を果たしているものがあり、他にも武道や禅、布団や畳などがあります。



グローバル化した日本の文化の根底には、歴史という持続性はもちろんのこと、健康というキーワードも欠かせないように思えます。特に和食については、油を使わないで調理をして、出汁やうま味を活かし、素材の味わいを深めたレシピは世界無形文化遺産となりました。そして、この油を使わないことが、健康食としての価値を生み出しています。

畳を中心とした上足の生活や、入浴の文化も日本人の清潔感に支えられたものです。清潔さは健康の基本です。



畳を中心とした上足の生活や、入浴の文化も日本人の清潔感に支えられたものです。清潔さは健康の基本です。

さらに柔道・剣道・相撲道・茶道・華道・書道は、禅に通じて精神の健康性を求めています。心を落ち着かせ、スローライフを体現しているのです。

健康をテーマとした住まいを考えるとときには、材料だけではなく、日本という健康も盛り込んでおきたいものです。

～編集後記～

あっという間に夏休みも終わり、新学期がスタートしました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

秋といえば、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…。たくさんの秋がありますが、私は食欲の秋でしょうか。ご近所の蕎麦畑が真っ白な花を咲かせて、とてもきれいです。もちろん秋そばも楽しみです。

秋、罪な季節です。



スイートルームの雰囲気

ベッドはシングルベッドを2台並べたゆりのキングサイズ。左右と足元に余裕をもたせて、スイートルームの様な雰囲気を感じさせます。壁面はのこぎりの刃痕までリアルな柵目柄のタイルを選定。



たいしんしんだん 耐震 診断

30年以内に巨大地震が起こる確率は70%以上。
巨大地震は、いつ起きてもおかしくはありません。

※このような方は、耐震診断をご検討ください。

- 昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方
- リフォームを考えている方
- リフォームや改修は10年以上したことがない方
- 過去に増改築された住宅に住んでいる方

有資格者による
耐震診断承ります

まず「家の弱点」を知ることが重要です。当社は耐震診断のプロ「耐震診断士」による現地調査・診断を実施しています。

～住まいは命を守るもの～ 「地震に強い家」は、

わが家は『健康一番家』
株式会社大成建設
〒306-0405
茨城県猿島郡境町塚崎2542-1

「健康一番家」の最大の特徴です。

☎0280-87-6177

健康いちばんや



